

日本生命財団 児童・少年の健全育成助成

「第4回 実践的研究助成ワークショップ」のご案内

《2025年11月15日(土)》 ハイブリッド開催

参加
無料

後 援

大阪府教育委員会
京都府教育委員会
滋賀県教育委員会
奈良県教育委員会
兵庫県教育委員会
和歌山県教育委員会
大阪市教育委員会
京都市教育委員会
堺市教育委員会

※府県・政令指定都市別50音順

- 日本生命財団は「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」を基本テーマに児童分野の研究に対して助成を行っています。
当助成は「実践的研究助成」と称し、研究チームは現場の実践家(教育・保育、心理、医療・保健・福祉現場の専門職、職員)を含めて構成する等を特色として、研究成果の社会還元・社会実装を目指しています。

- 今回、助成に採択された9チームの研究成果を公開ワークショップ《11月15日(土)開催》にて発表いたします(プログラムは裏面ご参照)。

- ご参加は、**ご来場(大阪・淀屋橋)**、**オンライン**いずれも可能です。
お申込みは、下のQRコード、財団HPから。
〈参加無料〉

□「実践的研究助成」公募概要

助成期間	2年	1年
助成金額	最大400万	最大100万
助成対象	研究者、または実践家	研究者、または実践家 (博士課程在籍者含む)
研究組織	研究者と実践家双方が必ず参画する	

※公募については、11月下旬開始予定です。

2025年11月15日(土) 10:30-17:10

TKPガーデンシティ大阪淀屋橋
〒541-0042 大阪府中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋ビル

申込〆切日 11月11日(火)

ご案内・お申込み

右記QRコード、または
当財団ホームページから
お申込みください。



ニッセイ財団 児童研究 ワークショップ



*席数には限りがございますので、申込はお早目に。

《 プ ロ グ ラ ム 》

10:30 開会挨拶 日本生命財団 理事長 長谷川 靖

10:40 実践的研究助成報告

『ニューロフィードバックを用いた子どもの泣きへの衝動性制御技能獲得プログラムの開発・効果検証』

前田 裕斗 氏(東京科学大学 特任助教)

『小児思春期摂食障害に対する日本版FBT(Family Based Treatment)治療システムの確立』

藤井 智香子 氏(岡山大学病院 講師)

『成人移行支援における患者教育:日本語版ボードゲームの開発』

大迫 美穂 氏(東京都立北療育医療センター 医長)

『子ども支援市民団体と行政・専門職の関係構築に関する研究』

清水 冬樹 氏(東北福祉大学 准教授)

『画像認識に基づく障がい児農業キャリア教育支援アプリの開発』

内海 ゆづ子 氏(大阪公立大学大学院 准教授)

『母子生活支援施設の親子を育む集団親子相互交流法の実装研究』

山下 洋 氏(九州大学病院 特任准教授)

『障害のある子どもの食の発達困難を支える人材育成プログラム開発』

田部 絢子 氏(日本大学 准教授)

『特別支援学校の震災後の対応事例を基にした災害教育教材の開発』

新谷 洋介 氏(金沢星稜大学 教授)

『津波被災地域における地域探求型教育プログラムの開発』

大塚 類 氏(東京大学大学院 教授)

16:40 総括 日本生命財団 児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 松見 淳子

17:10 閉会